



十人十色

合志市立合志南小学校
学校だより 第14号
令和2年11月16日
文責 校長 松原 弘治

次年度の入学に向けて就学時健康診断が行われました。

11月6日(金)の午後から、合志市教育委員会による就学事務の一環として、次年度、本校及び合志楓の森小学校へ入学予定の204名(諸事情で7名欠席)の子どもたちを対象に、本校を会場に健康診断が行われました。

現在もなお、感染拡大が心配されている新型コロナウイルスへの対策として、当日は、全体会場となる体育館への入場前に、検温やアルコール消毒の他に、できるだけ会場内では密を避けること等の対応へのご協力をお願いしました。また、例年であれば、6年生が班ごとに入学予定の子どもたちを担当し、健診場所へ引率したりする微笑ましい姿がたくさん見られたのですが、感染拡大を避けるために、今回は控えることとなりました。

保護者説明会では、本校の担当職員や給食センターの方から入学に向けての説明等を行いました。次年度の入学式が予定どおりできることを心より願っております。



約200名の子どもたちが就学時健康診断に来てくれました。



保護者の方も入学に向けての説明をしっかりと聞いておられました。

「学び合う」授業の実現に向けて

本校では昨年度に引き続き、子どもたちが主体的に「学び合う」授業に取り組んでいます。4日(水)の校内研修に、藤木文博先生(「学びの共同体」スーパーバイザー)を講師にお招きし、授業研究会を行いました。今後も、子どもたち一人一人の学びを保障するためにも、全職員でさらに取組を進めてまいります。



藤木先生から「子どもたちの学びへの「足場架け」を行う」こと等、助言いただきました。

熊日NIE通信「よんどらす」から取材がありました。

熊日の武蔵野台販売センターの方からの依頼で、13日(金)の放課後に、4年生の各クラスを代表して5名の子どもたちが、「わたしたちの学校自慢」について、私にインタビューをしてくださいました。当日の内容は12月号の「よんどらす」に掲載されるとのことです。ご覧になっていただければ幸いです。



子どもたちは、「やさしい人がたくさんいる」ことを自慢してくれました。